



伝承する地域の行事

4月3日 ジャジャシコ祭り

幕末に起きた大火を機に始まった扇田神明社の火防祭で、錫杖(僧や修験者が持ち歩くつえ)を突く消防団員を先頭に神主が家々を巡り、杓(しゃく)にくんだ水を屋根まで振り掛けます。錫杖の音から「ジャジャシコ」の名で町民に親しまれています。



旧5月28日

大日神社例祭／独鈷ばやし

「独鈷ばやし」は、甲斐国(現)



在の山梨県)からこの地に移り、独鈷城を築いた浅利則頼が祝宴で自ら舞ったことに由来します。町の無形民俗文化財に指定されており、大日神社例祭に奉納し、地域を練り歩きます。

8月上旬 山コチンチコ

「山コチンチコヨイヨイ」との掛け声も元気良く、子供たちが自慢の絵灯ろうを引いて町を練り歩きます。

8月13日 中野七夕

手作りの絵灯ろうを秋田市の竿灯風に組み上げ、大太鼓の響きに乗せて巡る七夕行事です。戦国時代末期、浅利勝頼の築城を祝って始まったと伝えられています。



8月13日 金山七夕太鼓

大葛金山で働く人たちが、お盆に仏様を家に迎え入れるため、勇

壮に太鼓を叩いて練り歩いたのが由来です。

8月17・18日

扇田盆踊り(ハッタギ踊り)

一種独特の振りを持つ踊りで、バツが飛び跳ねる様子に似ていることから「ハッタギ踊り」と呼ばれています。



史跡

・独鈷大日神社と浅利氏

1538

年(天文7)、この地に、甲斐国から移った浅利則頼が独鈷城を築城しました。比内町を中心に広く大館盆地一円を治めた浅利氏でしたが、



やがて秋田氏との争いで滅亡しま

した。その浅利氏の城跡にあるのが大日神社で、奈良時代の名僧行基が刻んだと伝えられる大日如来像が安置されている由緒ある御堂です。そして、大館市を含め県北部に住んでいる「浅利」姓の多くは独鈷城の「浅利氏」に由来しているそうです。

・西木戸神社

源頼朝に追われ、この地方で首を打たれた奥州藤原氏4代泰衡の妻がここで自害しました。これを哀れんだ里人が五輪の塔をまつりました。以来、この高台は五輪台と呼ばれています。

・扇田神明社

1105年(長治2)に創建された古社は、この地を治めた浅利氏、佐竹氏の祈願所でした。1868年(慶応4)戊辰の役で激戦地となり、老木には今も弾痕が残っています。

・長岐家武家門

明治中期、扇田の大地主として栄えた長岐家が造らせた門で、四本柱出桁造りと白壁が特徴です。

